

令和元年度県総体結果!!

◎男子テニス部

男子団体優勝(インターハイ出場・東北大会出場)
男子シングルス準優勝(インターハイ出場・東北大会出場)
男子シングルス第7位(東北大会出場)
男子ダブルス準優勝(東北大会出場)

男子団体は、初戦から準決勝までセットカウント2-0で勝ち上がり、決勝に進出した。ダブルス菅野晟司(2年・天童四中出身)・佐藤広空(3年・八軒中出身)組、シングルス1江口輝(2年・山形五中出身)、シングルス2齋藤大希(3年・金井中出身)のオーダーで臨んだ。決勝は、第1シードの仙台第一高校と対戦。シングルス1江口がシングルス第1シードの選手に食らいつきチームに流れを作るが敗退。シングルス2齋藤は、前半相手に主導権を握られるが、流れを戻し逆転でゲームカウント8-5で勝利。勝負の行方は、ダブルスの菅野・佐藤組に託された。ゲームカウント4-4の後の第9ゲームは何度もデュースが続くロングゲームとなった。相手に何度もゲームポイントを握られながらも挽回しこのゲームを奪取。流れをつかみ一気に4ゲームを連取。ゲームカウント8-4で勝利。チームもセットカウント2-1で勝利、見事に優勝を決めた。応援と選手が一体となった優勝だった。インターハイ出場は、4年ぶり8回目となる。個人戦シングルスは、江口が最高のパフォーマンスを発揮した。ベスト4リーグでは第1シードの選手にゲームカウント7-5で勝利すると波に乗り、2勝1敗で準優勝し、インターハイ出場を決めた。シングルス第7位の齋藤、ダブルス2位の江口・齋藤組が東北大会出場を決めた。この結果により、6月21日～24日まで仙台市で開催された東北大会に出場した。団体とシングルスは、8月1日から8日まで宮崎県宮崎市で開催されるインターハイへ出場する。



◎アーチェリー部

女子団体優勝(2年連続8度目のインターハイ出場・東北大会出場)
男子団体第3位(2年連続東北大会出場)
女子個人優勝・第3位(インターハイ出場・東北大会出場)
男子個人準優勝(インターハイ出場・東北大会出場)

県総体において3年連続で男女インターハイ出場を果たした。女子団体は、千田真由(2年・条南中出身)、菅野真鈴(2年・気仙沼中出身)、丸山捺稀(2年・鹿折中出身)、水戸更(2年・鹿折中出身)のメンバーで試合に臨み、見事に優勝しインターハイ出場を決めた。男子団体は、尾形俊郎(3年・新月中出身)、渡邊栄揮(2年・面瀬中出身)、尾形拓(2年・気仙沼中出身)、阿部惟人(2年・志津川中出身)の2年生中心のチームだったが、健闘して東北大会出場を決めた。女子個人でも、千田が優勝し、ラウンド賞をすべて獲得し、2位に113点差をつける完全勝利でインターハイ出場。菅野は第3位に入賞した。男子でも尾形が準優勝し、インターハイ出場を決めた。この結果により、6月21日～23日まで山形県鶴岡市で開催される東北大会に出場した。この後8月7日～10日に熊本県八代市で開催されるインターハイに出場する。



◎男子バレーボール部 第3位

大会初日は2回戦で柴田高校との対戦。相手の強烈なスパイクをレシーブでしのぎ東陵らしい粘り強いバレーで勝利した。特にリベロの伊藤海翔(2年・桃生中出身)の正確なサーブレシーブは見事だった。大会2日目は3回戦で仙台第一高校をストレートで破った。準々決勝では明成高校と対戦。行場諒(2年・桃生中出身)、三浦竜紀(1年・桃生中出身)のジャンプサーブ、エース米林蓮(2年・蒲町中出身)の強打で攻め、フルセットの試合を制した。大会最終日は野球部、女子バレー部の応援に後押しされ奮闘した。準決勝では第1シードの東北高校に、東北大会出場決定戦では第2シードの仙台商業高校にそれぞれストレート負けしたが、チーム一丸となり、見事にベスト4入賞を果たした。10月の春高バレー宮城県代表決定戦に向けて一層の努力をし、チーム力を向上させ、優勝目指して挑戦する。



◎女子テニス部

女子団体第3位(東北大会出場)
女子シングルス第3位、第4位(東北大会出場)
女子ダブルス第2位(東北大会出場)

女子団体戦は、ダブルス浦山もも(3年・山形六中出身)・奥山志穂(2年・山形二中出身)組、シングルス1佐野柚葵(2年・富士根北中出身)、シングルス2村上綾香(3年・松岩中出身)のオーダーで臨んだ。準決勝まで全試合セットカウント2-0で勝ち上がった東陵は、第2シードの仙台育英高校と対戦した。ダブルスは終始リードで試合が進んだ。シングルス1はゲームカウント5-5まで互角の試合展開となった。シングルス2は序盤のゲームカウント1-5から、東陵の男女一丸となった熱い声援が選手を後押し、巻き返しの逆転でゲームカウント9-7で勝利した。東陵の勢いで包み込んだ団体戦は、見事に第3位で東北大会出場を決めた。個人戦は、第8シードで出場した村上綾香が、準々決勝で第2シードの仙台育英の選手をゲームカウント7-6で倒し、村上綾香と佐野柚葵がベスト4入りした。ダブルスも佐野柚葵・村上綾香組が決勝まで進んだ。団体戦、シングルス、ダブルス各種目で6月21日～24日に仙台市で行われた東北大会に出場した。



◎剣道部 男子団体ベスト8 女子団体ベスト16

大会最終日、男子団体戦は予選リーグから接戦をものにし決勝トーナメント進出。準々決勝、明成高校との対戦は一進一退の戦いになり同勝数同本数で大將戦を迎えた。相手選手に引き面を先制されるも時間間際に逆胴を取り返し引き分け、勝負は代表者戦にもつれた。代表者戦は大將同士の戦いになり面を取られ敗戦したものの、緊迫感のある試合を展開し会場の注目を集めた。

女子団体戦は5人制のところを3人で挑んだが、予選リーグを3人全員が勝利しチームは2戦2勝で創部以来初の女子団体決勝トーナメント進出を果たした。決勝トーナメント1回戦の相手は優勝した小牛田農林との対戦となった。結果は0-5で敗戦したが、先鋒戦で面を先制するなど気迫のこもった試合を展開し来年につながる手ごたえを感じた。

